

はすだ 自治連だより

第35号

令和5年7月31日



編集・発行 蓮田市自治連合会

令和5年度がスタート

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、5月8日から第5類に移行され、普段の日常が戻りつつある5月31日、自治連合会通常総会（書面表決による）が開催され、令和5年度がスタートしました。蓮田市全体の自治会加入率が、50%を切る様な状況であり、何としてもこの状況を食い止めなければならないと考えます。

1. 自治会加入の後ろ盾となる「自治会加入促進条例」（仮称）の制定を行政にお願いし、一人でも多くの自治会員を増やす活動を展開していきます。

2. 自治会員がメリットを受けられる様な仕組みを作り、お買い物優待制度の「創生」を目指します。

一方、私たちを取り巻く自然環境は、これまで経験したことのない風水害や大地震発生リスクが高まっています。自治会・自治連合会は、災害時支援の中核的な組織としてその存在が問われています。そのため、災害時に機能する「防災・減災活動」に向けて効果的かつ実現可能な「防災セミナー」を以下の内容で企画しました。

大地震の際に命を守る「自助」として、家具転倒防止対策、最新防災グッズの紹介と在宅避難用グッズの紹介、災害時のトイレは？、食料備蓄は？、など、『防災実践講座』を地域ごとに4か所の自治会館（蓮田、黒浜地区）及びトレーニングセンター（平野地区）で開催します。

自治連合会は、令和5年度も引き続き「防災・減災活動」を最重点事業として進めていきます。

令和5年度 自治連合会役員

会 長	大塚 武夫	（黒浜・西城）
副 会 長	小山 晃	（蓮田・見沼町）
副 会 長	小川總之輔	（黒浜・椿山4）
副 会 長	関原 達也	（平野・平野団地）
常任理事	齋藤 齊	（蓮田・下町親和会）
常任理事	別所 昌江	（蓮田・下関戸）
常任理事	間ヶ部隆治	（黒浜・西新宿1・6）
常任理事	藤田 満幸	（黒浜・岡の島）
常任理事	杉崎 繁雄	（平野・根金1・2区）
常任理事	長嶋 富保	（平野・井沼上）
会 計	澤田 初夫	（蓮田・前口第1）
会 計	間ヶ部隆治	（黒浜・西新宿1・6）
会 計	杉崎 繁雄	（平野・根金1・2区）
監 事	黒澤 久好	（蓮田・久台第2）
監 事	高沢 秀樹	（黒浜・椿山3）
監 事	関口 昇	（平野・駒崎）
顧 問	宗像 敬一	（黒浜・蓮田桜台）

令和5年度も引き続き自治連合会長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

コロナもようやく落ち着いてきましたが、自治会のイベントもなかなか再開できない状況もあるかと存じます。前例にとらわれず、失敗を恐れず、とにかく何でも第一歩を踏み出したらいかがでしょうか？自治連合会では、今後とも各自治会のイベントや取り組みを紹介していきます。

蓮田市自治連合会長 大塚 武夫



新しく、自治連合会「顧問」に前自治連合会副会長の宗像 敬一（蓮田桜台）さんを委嘱いたしました。顧問の職務は、会長への助言・事務補佐です。

- 開催日時：令和5年6月23日（金） 6時30分～15時40分
- 参加者：自治会長（自治会役員、防災会役員）34名・貸切バス利用
- 旅程紹介：元JA南彩平野支店・武蔵野銀行 蓮田支店・蓮田市役所 → そなエリア東京（見学・体験） → 移動・昼食 → 首都圏外郭放水路 → 蓮田市役所・武蔵野銀行 蓮田支店・元JA南彩平野支店 解散

そなエリア東京（防災体験学習施設）の紹介

1. 防災体験ゾーン

地震発生から避難経路を使用しての脱出、被災地や避難所のジオラマを移動しながら地震発生後72時間を生き抜くための知識を学ぶことができます。

2. 防災学習ゾーン

首都圏で想定される地震の被害や暮らしの中で出来る備えの知識を学習できます。また、防災グッズの見本もありますので、参考になります。

3. 首都圏外郭放水路の紹介

防災地下神殿（調圧水槽）を見学することができ、また、本施設によって、広範囲の地域が浸水被害を免れられることを実感することができます。また、付属の施設（龍Q館）にて首都圏外郭放水路のメカニズム等について学習することができます。



まとめ

災害時や災害が発生する前の備えについて役立つ知識を習得できました。

救護ステップアップ研修の報告

6月30日

- 開催日時：令和5年6月30日（金） 13時30分～17時00分
- 参加者：自治連合会理事、市議会議員、自主防災組織協議会役員、防災士
- 内容：

1. 「救護活動」の在り方

災害時の救護活動は、普段の近所の方との助け合いが基盤となり、自治会組織の重要性が改めて認識されました。

2. 止血法・包帯法

生命が危くなる出血の量や、いち早く止血することの重要性を学びました。「止血方法」は、三角巾を活用して包帯とする方法、身近なレジ袋・ラップフィルムを活用した方法を学びました。

3. 救出法・搬送法・胸骨圧迫法（心臓マッサージ）

倒壊した家屋から生存者を救出する方法、毛布やトレーナー、ブルーシートを用いた簡易搬送手段作成方法、救命の基礎となる胸骨圧迫法について実践を交えて学びました。

4. 災害情報収集手段方法と携帯トイレの重要性

NHKの「dボタン」の活用方法、「災害用伝言ダイヤル」の活用方法を学びました。「携帯トイレ」の平時からの自宅備蓄の重要性を学びました。



まとめ

災害時に機能する防災・救護活動には、知識だけでなく、平時の訓練が不可欠であることを改めて学習しました。